

# 2024年 国賠同盟前進の年へ



山口県本部版  
 NO 304  
 治安維持法犠牲者  
 国家賠償要求同盟  
 山口県本部  
 〒754-0004  
 山口市小郡金堀町  
 21番の1  
 林洋武方  
 電話&FAX  
 083 (972) 3987

【写真は2023年国賠同盟中国ブロック交流会出席者  
 9月10日、山口県下関市の海峡ビューしものせきで】

## 謹賀新年

ウクライナやガザの戦争での、子供やお年寄りの悲惨な姿は、世界の民の心を揺さぶっています。世界に必ず平和をと今年も叫び続けます。一方、国内では「政治資金裏金疑惑」「旧統一教会」「桜を見る会」など自民党と安倍派の長年の悪行は「赤旗」の一矢で深部を突き破りました。正義は必ず勝つことを改めて教えています。「赤旗」の快進撃に励まされ戦前の暗い時代を繰り返さないために、日本のためにかんばる年にしましょう。

### 治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟

山口県本部役員一同

会長 林 洋武

副会長 中村 鈴枝

事務局長 大田智美

理事 小川静生

小川ふさ子

岡藤和代

北村るみ

松富昭子

中村祥晴

三谷弘子

会計監査

私の戦争体験 北朝鮮の難民であった頃(1) 林洋武

何度でも語りた戦争の体験

私は今八八歳、日本が戦争に負けたときは小学校四年生でした。だから戦争を直接体験したそして記憶している最後の世代だと自負しています。ウクライナの戦争やガザでの戦争で子供達が無惨に犠牲になる姿をテレビなどで見るたびに自分の経験した思いと重なります。一九三一年(昭和六年)満州事変が始まって以来一五年戦争がつづきました。この間日本人だけで三一〇万人の犠牲者が出ました。(軍人軍属二三〇万人、民間人は原爆被爆者、空襲の被害者、満州開拓民、海外引揚者など八〇万人)。北朝鮮には在住日本人三十数万人と満州から避難してきた約十万人が三八度線北側に閉じ込められました。私もその一人です。またこの戦争で日本が侵略した中国、フィリピン、インドネシア、東南アジアなど住民、三千万人以上の犠牲者をだしました。

戦争体験記を発行した経験から

私は二〇〇八年に「戦中戦後少年の記憶」と題して戦争体験記をだしました。三百ページの長いものです。五〇〇冊印刷しました。朝鮮問題が専門の京大教授の水野良樹氏は「学生に読ませたい」と一〇冊追加注文されました。広島同盟の

故片桐隆三氏は四〇冊近く普及してくれました。わたしの従姉妹の友人は「メロウ倶楽部」というインターネットに全文載せてくれました(現在も載っています)。大学時代のクラスの友人でたぶん思想的には全く違った友人からも反応がありました。官僚になり退職した友人や大企業の役職者になった友人からネットで読み「共産党の活動の記録も書いたらどうか」など激励を受けました。故塩田庄兵衛先生からも生前何度も催促されましたが先生の生存中には間に合いませんでした。今回はいよいよ人生最後に書き残したい気持ちでもう一度書くことにしました。

敗戦の日から一年半の記録

四つの章にわけて順にお伝えしようと思います。

第一に一九四五年八月一五日前後です。北朝鮮の片田舎順安面(現平壤市)で敗戦を迎えました。その前後のことです。

第二にその順安面にいた日本人と満州から避難してきたあわせて三百余名が日本人収容所に入れられて一年間飢えと寒さと病気に悩まされました。

第三にその収容所から集団で脱走して子供も年寄りも三八度線まで七〇里を二週間歩き続けました。

第四に三八度線を越えてから博多湾上で四二日間コレラの感染船で苦しんだ記録です。